

口腔がんのサバイバーシップを支えるために 患者の声から、口腔がんの 治療とサポートについて考える

口腔がんは会話、発語、嚥下、整容性など、人として生きていくうえで大切な機能に影響を及ぼします。疾患特性や治療方法も多岐にわたり、患者さんとのコミュニケーション、QOLへの配慮、社会復帰等の点でチーム医療が不可欠です。

このセミナーでは、口腔がんについて病態を一度整理したうえで、口腔がん体験者の声をお届けし、サバイバーシップの支援の視点から治療前、治療中、治療後の患者・家族へのサポートについて考えます。

医療者向けセミナー

2016年

参加費：無料

申込：不要

1月22日(金)
16:45-18:15

横浜市開港記念会館
(2階6号室：C会場)

横浜市中区本町1丁目6番地

<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kaikou/acces.html>

プログラム

座長：藤井 正人（東京医療センター臨床研究センター 部長）

開会挨拶	サバイバーシップ支援の視点 ～本企画の開催趣旨～	川上 祥子 NPO 法人がんネットワークジャパン 理事
座長挨拶	いま頭頸部がんに必要なチーム医療	藤井 正人 東京医療センター臨床研究センター 部長
講演①	口腔がん治療の現状とこれから	光藤 健司 横浜市立大学大学院医学研究科 顎顔面口腔機能制御学
講演②	口腔がんサバイバー体験談①	手術を受けた患者の立場から（40代男性）
講演③	口腔がんサバイバー体験談②	手術をせずに治療した患者の立場から（80代女性）
講演④	口腔がん患者を支える看護の視点	後藤 志保 がん研有明病院 がん看護専門看護師
講演⑤	口腔がん患者を支える栄養の視点	豊島 瑞枝 東京医科歯科大学歯学部附属病院 管理栄養士
Q&Aトークセッション	口腔がんの治療とサバイバーシップを支えるために 司会：藤井 正人／川上 祥子 回答者：光藤 健司／後藤 志保／豊島 瑞枝／講演②演者／講演③演者	

共催



第34回日本口腔腫瘍学会

ONCOLOGY



Merck Serono

メルクセローノ株式会社



CancerNet Japan

NPO法人がんネットワークジャパン